

科目名	美容実習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	金谷 毅／手代木 寛朗
学科・コース	美容師科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	300 (10)	開講区分 曜日・時間	後期 月曜1, 2限／月曜3, 4限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
金谷 毅(カナヤ タケシ) サロンワークを25年以上経験し、店長・FCオーナー・本社運営業務・コンテスト受賞多数・ヘアショー・海外研修活動・イベント運営・ヘアメイク・講演活動・スチール撮影動画撮影編集制作・メーカーインストラクター・美容師養成施設での国家試験対策授業などを経験し業界内でのあらゆる経験を活かしてヒューマンスキル&テクニカルスキルの向上を目的に業界内で活躍できる基礎技術を身につける。							
手代木 寛朗(テシロギ ヒロアキ) Ash十日市場店の代表兼クリエイティブディレクター美容師歴は23年、延べ36,000人以上のお客様を担当してきた豊富な経験を持ち、特に男性のパーマスタイルを得意とする。数々の大きなコンテストで受賞歴があり、グランプリも獲得。社内パーマチーム所属。社内ヘアショー演出。美容専門学校で講師を多数経験。							
【授業を通じての到達目標】							
カット技術基礎訓練&ヘアカラー技術基礎訓練を身につけヘアデザインの基礎からクリエイティブデザインの創造までを目標とする							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美容技術理論1・美容実習1				デザインコラージュ制作・カットカラーウィック作品制作等			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ミディアムサロンスタイルカット						

科目名	購読演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	神谷 明日香／沖 将孝
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期 月曜3限／月曜2限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
美容実務3年、美容学校教務歴15年の教員が、自己分析、グループワーク、お客様体験を通して、職業観を養う。							
【授業を通じての到達目標】							
自分の強みを理解し自己肯定感を高める。またそれらを表現し、自己PRにつなげることができる。 業界、職業理解を深め就職活動における基礎知識を身につけることができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ipad							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	グループワーク						
2	履歴書作成(用紙にて記入)						
3	電話のマナー基礎／メールの送り方						
4	グループワーク						
5	SNS授業					BESTAR	
6	SNS授業					fifth	
7	全身写真の撮り方ワーク						
8	サロンのさがし方					BESTAR	
9	求人票の見方					BESTAR	
10	グループワーク						
11	履歴書清書						
12	模擬面接準備					リクエストQJ	
13	模擬面接練習					リクエストQJ	
14	模擬面接当日					リクエストQJ 定期テスト100点	
15	封筒の書き方・DM・LINEの送り方・実習に行く際の服装					BESTAR	
【特記事項】				【評価について】			
				●定期試験100点満点 ●評価 A評価（90～100点）／B評価（80～89点）／C評価（70～79点） D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）／F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	美容総合技術	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	神谷 明日香
学科・コース	美容師科(ヘアメイクビューティ専攻)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	後期
						曜日・時間	火曜1.2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師歴8年、ヘアメイク歴10年経験のある講師から幅広い美容技術と知識を身につけ技術向上を目指す。 パーマ、ヘアアレンジ、特殊ヘアアレンジ、特殊メイク、ヘアセットなどの技術を実践形式で学び、1人1人が得意な技術を見つける。							
【授業を通じての到達目標】							
プロとして心遣い、気遣い、技術を学び、卒業後に目指す美容師像を明確にする。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
iPad、シザーケース、クランプ、ウィッグ、スプレーヤー、メイク道具一式、カールアイロン、ストレートアイロン							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	メイク					11月18日	
2	メイク					12月2日	
3	ヘアアレンジ					12月9日	
4	ヘアアレンジ					12月16日	
5	ヘアアレンジ					1月13日	
6	まつエク					1月20日	
7	まつエク					1月27日	
8	特殊メイク					2月3日	
9	作品撮り準備						
10	作品撮り準備						
11	作品撮り						
12	まつエク						
13	まつエク						
14	まつエク						
15	まつエク						
【特記事項】				【評価について】 ●中間テスト50点、定期試験50点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	美容総合技術	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	遠藤 智緒里
学科・コース	美容師科（ブライダル専攻）	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	後期
						曜日・時間	火曜1, 2限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
結婚式に関わるウェディングスタイリスト(美容)に関する衣装の知識・ドレスフィッティング・花嫁和装の着付け・ブライダルヘアメイク・ブライダルヘアセット・ヘアメイクチェンジ・花嫁アテンドなど、ブライダルに関わる美容の知識と技術を、ブライダル業界で活躍中のスタイリストより学ぶ。分野ごとの異なる講師によって、様々なテクニックが伝授される。接客者としてのスキルを高め、ウェディングファッションの歴史や知識を習得し、正しくドレスやタキシード、着物の着付けを行い、ブライダルヘアメイクアップアーティストとしての知識と技術が習得できる。また、ドレスと小物のトータルコーディネートなど、トレンドのセンスを磨く授業。日本ウェディングスタイリスト協会(JWSA)認定の「WEDDING FASHION STYLIST」と「WEDDING BEAUTY STYLIST」の資格が取得できる。							
【授業を通じての到達目標】							
ブライダルヘアメイクアップアーティストとしての知識と技術を習得し、日本ウェディングスタイリスト協会認定の「WEDDING FASHION STYLIST」(婚礼衣装の知識)と「WEDDING BEAUTY STYLIST」(婚礼美容の知識と技術)の資格を習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】		
テキスト:JWSA①「WEDDING FASHION」 テキスト:JWSA②「WEDDING BEAUTY」 ヘアメイク道具一式					授業前に、テキスト内の動画(QRコード)を見ておくこと。		
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	授業概要／ブライダル業種／結婚とは／日本の結婚式の歴史／ブライダル業界の特徴						
2	ウェディングドレス(洋装)とは／ドレスラインやドレスの素材・その特徴						
3	ウェディングドレス(洋装)の小物(ベール・グローブ・ヘッドドレス・アクセサリ・パニエ・シューズ)の特徴／ブーケ&ブートニアの名称とデザイン						
4	新郎の衣装(洋装と和装)／新郎洋装小物の名称／新郎和装小物の名称／紋とは／紋の種類と格付け						
5	ブライダルインナーとは／ブライダルインナーの装着／ドレスフィッティングテクニック						
6	新婦の和装(白無垢・色打掛・引振袖)とは／新婦和装小物の名称／留袖とは(紋・文様・小物)						
7	ドレスのトータルコーディネート(衣装選び・着付け・小物合わせ)／中間試験					中間試験 40点 (JWSA認定「WEDDING FASHION STYLIST」認定試験)	
8	ブライダルヘアメイクのお仕事とは／一般的なメイクとブライダルメイクの違い						
9	ウェディングドレスのメイク／カラードレスのメイク／ブライダルメイクのテクニック／メイクチェンジテクニック						
10	挙式の洋装ヘアセット／披露宴の洋装ヘアセット／ヘアチェンジテクニック						
11	前撮り洋装メイクとヘアセット／前撮り和装メイクと洋装セット／かつら合わせ(映像学習)						
12	テーマによるメイクアップとヘアセットの提案／ウェディングビューティーフォトコンテストへエントリー(作品撮り)						
13	新郎のヘアセットとメイクアップ／お母様のメイクアップとヘアセット						
14	アテンドとは／新郎新婦のポージング／アテンドテクニック／模擬挙式						
15	ブライダル洋装ヘアセットとメイクアップ／定期試験					定期試験 60点 (JWSA認定「WEDDING BEAUTY STYLIST」認定試験)	
【特記事項】					【評価について】		
					● 中間試験40点、定期試験60点 計100点満点		
					● 評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)		
					● 評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。		

科目名	美容総合技術	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	沖 将幸
学科・コース	美容師科（ヘアスタイリスト専攻）	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （2）	開講区分 曜日・時間	後期 火曜1, 2限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
美容師歴8年、ヘアメイク歴10年経験のある講師から幅広い美容技術と知識を身につけ技術向上を目指す。 パーマ、ヘアアレンジ、特殊ヘアアレンジ、特殊メイク、ヘアセットなどの技術を実践形式で学び、1人1人が得意な技術を見つける。							
【授業を通じての到達目標】							
プロとして心遣い、気遣い、技術を学び、卒業後に目指す美容師像を明確にする。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ipad、シザーケース、クランプ、ウィッグ、スプレイヤー、メイク道具一式、カールアイロン、ストレートアイロン							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	メンズカット					9月30日	
2	メンズパーマ					10月7日	
3	メンズパーマ					10月14日	
4	メンズカット					10月21日	
5	メンズカパーマ					10月28日	
6	レディースカット					11月4日	
7	レディースパーマ					11月11日	
8	特殊ヘア(コーンロウ、ブレイズ)					11月18日	
9	作品撮り準備						
10	作品撮り準備						
11	作品撮り準備						
12	作品撮り準備						
13	作品撮り準備						
14	作品撮り						
15	作品撮り						
【特記事項】				【評価について】 ●中間テスト50点、定期試験50点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	保健	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	米山 乃生子
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	火曜4限／3限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
保健は解剖学と生理学を合わせた科目です。以前は「解剖生理学」といいました。 私は、保健(解剖・生理)を大学で学び、歯科医師免許取得後は、臨床や薬品の業界から教育の現場へ、保健の教育は、さまざまな種の専門学校にて20年以上携わっています。 この科目は人体を取扱う職業人として、当たり前に持っていなければならない知識と言えます。 美容師を目指す皆さんに必要な身体(形(構造))＝解剖学と身体(働き(機能))＝生理学を楽しみながら学んでもらいたいです。 知らないことを知る！それが専門課程の勉強です。 知的好奇心を全開に学習に臨んでください。							
【授業を通じての到達目標】							
美容とは美しく変容させること。 美しさとは内側と外側の連携にて表れる現象です。 どんなに素晴らしい香粧品を使っても、肌がボロボロでは活かせません。 疲れや悩みで表情が沈んでいては映えません。 お客様や身近な人の健康や栄養、養生方法などの相談に応えられる美容師を目指します。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・「保健」教科書				・復習を1科目1時間を目安に行う。			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	はじめに、保健を学ぶにあたって・人体1章「頭部・顔部・頸部の体表解剖学」					理解度チェックテスト	
2	人体2章「骨格器系」					理解度チェックテスト	
3	人体3章「筋系」①「1項 筋の種類と特徴・2項 主な骨格筋とその働き」					理解度チェックテスト	
4	人体3章「筋系」②「3項 表情筋と表情運動」					理解度チェックテスト	
5	人体4章「神経系」①「1項 神経系の成り立ち・2項 中枢神経系とそのはたらき」					理解度チェックテスト	
6	人体4章「神経系」②「3項 末梢神経とそのはたらき」					理解度チェックテスト	
7	人体5章「感覚器系」					理解度チェックテスト	
8	人体6章「血液と免疫系」①「1項 血液のあらまし」					理解度チェックテスト	
9	人体6章「血液と免疫系」②「2項 免疫のあらまし・3項 アレルギー」					理解度チェックテスト	
10	人体7章「循環器系」					理解度チェックテスト	
11	人体8章「呼吸器系」					理解度チェックテスト	
12	人体9章「消化器系」①「1項 消化器系のあらまし・2項 消化管の仕組み・3項 消化管のはたらき」					理解度チェックテスト	
13	人体9章「消化器系」②「4項 消化管と物質代謝」					理解度チェックテスト	
14	定期試験					定期試験 100点	
15	定期試験返却・解説						
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	関係法規・制度	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	福井 識章
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 火曜3限／火曜4限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 法の仕組みを理解し、自身が美容師になったのち、さらには美容店を開業したのちに必要とされる関係法令を理解することを目的とする。 担当教員は理容師免許も持っている行政書士として実務に携わってきたので、具体的、実務的な面からの講義を行う。 ※平成13年9月福井識章行政書士事務所設立(現 行政書士法人全国理美容コンサルティング)。行政書士として20年以上実務に携わる。							
【授業を通じての到達目標】 1. 国家試験の関係法規で4問以上の正解を出せる実力を身につける。 2. 美容店の開業について法的なイメージができるようになる。 3. 法が身近なものであることを知り、日常生活の中で関わる法律を理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
関係法規 テキスト							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	法とは何か、法の形式を学ぶ						
2	衛生法規を学ぶ						
3	衛生行政の意義と歴史を学ぶ						
4	理容師法、美容師法の目的と用語の意義を学ぶ						
5	理容師法、美容師法の「人」に対する規定を学ぶ						
6	理容所、美容所に関わる規制を学ぶ						
7	中間テスト					中間テスト 40点	
8	違反者に対する行政処分を学ぶ						
9	行政不服申し立てについて学ぶ						
10	業の振興に関連する法律を学ぶ						
11	雇用に関する法律を学ぶ						
12	消費者保護に関する法律を学ぶ						
13	個人情報保護法を学ぶ						
14	期末テスト					期末テスト 60点	
15	総復習						
【特記事項】				【評価について】 ●中間テスト40点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	美容実習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	飯野 大輔／浅川 多加美／ 高橋 雅代
学科・コース	美容師科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	300 (10)	開講区分	後期
						曜日・時間	水曜3, 4限／水曜1, 2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師として、経営者として、美容専門学校での講師としてそれぞれ10年以上のキャリアのある講師が担当。 美容国家試験の実技課題であるオールウェーブの技術の習得を目指していく							
【授業を通じての到達目標】							
オールウェーブの課題スタイルの作り方を覚えて、7段構成のウェーブ部分を作成することができるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
授業内容によって異なるため授業内で確認				欠席(公欠含む)の場合は、展示動画などで授業内容を確認・実践しておくようにする			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	授業説明・ウィッグの毛量調整をし、作業がし易いようにする。ピンの使い方						
2	ローションの付け方。コームの使い方。Cシェーブ、リッジの作成をする						
3	1段目の導入。スカルプチュアカールまで						
4	1段目復習、2段目の導入						
5	1～2段目の復習						
6	1～2段目の復習と3段目導入						
7	スカルプチュアカールの強化						
8	フルウェーブで7段作成						
9	フルウェーブで7段復習						
10	4段目からの左右ウェーブ部と中央カール部の分け取り方導入						
11	分け取り方復習						
12	1～3段目復習。タイム練習						
13	今までの導入部の復習(各個人の苦手な場所を練習)						
14	1～3段目・左右ウェーブまでの実践・テスト					定期100点	
15	2年生に向けて色々なカールを作ってみる						
【特記事項】				【評価について】			
				●定期試験100点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	衛生管理	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	松蘭 剛
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜2限／3限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
首都圏電鉄系不動産を経て神奈川県内サロン運営会社に転職後、サロンワークに従事。その後教員資格取得しつつ店舗開発等を担当。授業ではサロンワークに衛生管理をどう活かすのかという視点と、美容師国家試験筆記科目で最も出題数が多い科目の為、教科書のポイントと出題の傾向を見ながら学び、結果として正答率を上げる視点で授業を進めていきます。							
【授業を通じての到達目標】							
サロンワークに活かすポイント学習及び国家試験（筆記）において学習したポイントや知識がそのまま活かせる状態に近づけていく。併せて推理、推論で正答率を上げていけるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
日本理容美容教育センター発行『衛生管理』教科書、プリント、問題集等							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	講師自己紹介、授業の進め方、筆記試験でのウエート理解、全体像の確認						
2	公衆衛生の概要、発展の歴史（消毒法を含む）						
3	美容師と公衆衛生						
4	保健所と美容業					小テスト（予定）	
5	保健（母子・成人・高齢者①）						
6	保健（成人・高齢者②）						
7	保健（成人・高齢者③・精神）					小テスト（予定）	
8	中間試験					中間試験40点	
9	環境衛生の概要（内容・目的と意義）					小テスト（予定）	
10	空気環境（空気と健康・温熱環境）						
11	衣服・住居の衛生（採光・照明）					小テスト（予定）	
12	上・下水道と廃棄物						
13	衛生害虫とネズミ、環境保全					小テスト（予定）	
14	期末試験					期末試験60点	
15	期末試験解答ポイント確認						
【特記事項】 毎回、名札をつける事。中間・期末試験時は学生証も持参すること。イエローマーカーペンを用意すること。				【評価について】 ●中間試験 40点、期末試験60点 計100点満点 ●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点） D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	美容実習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	神谷 明日香／八木 杏樹／ 川島 優輝／村松 和哉
学科・コース	美容師科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	300 (10)	開講区分	後期 木曜1、2限／木曜3、4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
八木 都内2店舗での勤務経験とフリーランスとしての活動を経て、横浜ベルエポック美容専門学校と同級生と共に独立を果たし、現在はサロンワークに加え、スタイル提案や撮影技術において高い評価を得ている講師が担当します。							
川島: メンズサロンに5年間在籍し、スタイリストとして活躍。現在もメンズスタイルを中心に幅広い技術を提供しており、特にドライ・ブロー・アイロンワークを駆使した再現性の高いメンズヘアに定評がある。現場で培った豊富な経験を活かし、学生が就職試験やサロンワークで即戦力となれるよう、実践的かつ丁寧な指導を行っている。							
村松: 都内の2店舗での経験を経て、レディース・メンズ問わず全ての技術に精通。幅広い技術力とトレンドを取り入れたスタイル提案を強みとし、現場で求められる多様なニーズに対応できる実力を持つ。学生一人ひとりの特性に合わせた実践的な指導を行い、即戦力となる技術習得を目指している。							
本授業では、サロン現場で求められる即戦力としての基礎力と応用力を養うことを目的とし、特にドライ、ブロー、アイロンワーク、スタイリングといった仕上げ技術を中心に実践的に指導します。限られた時間の中で正確かつ美しい仕上がりを実現する力を育むとともに、接客における配慮やプロフェッショナルとしての姿勢も重視します。							
こうした取り組みを通じて、学生が将来のスタイリストデビューに向けて、現場で通用する確かな技術と感性を身につけることを目的とします							
【授業を通じての到達目標】							
前期で習得した基本的なサロンワークの技術を基盤とし、後期では現場で求められる即戦力としての水準に到達することを目指す。特にドライ、ブロー、アイロンワーク、スタイリングの仕上げ技術を強化し、30分以内にウェットの状態からドライ・ブロー・スタイリングまでを完成させる技術を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
デルコーム・ロールブラシ・デンマンブラシ・アイロン(ストレート・カール)・ドライヤー・ダグ・カールスタイリング剤(オイル・ワックス・スプレー等)・タオル3枚・スプレーヤー(霧吹き)・筆記用具(ペン・ノート)・鏡(全身・ハンドミラー) ※教室備品であれば不要・ウィッグ(相モデル実習を併用するため、基本は相モデル・補助的に使用)・クランプ(相モデル実習を併用するため、基本は相モデル・補助的に使用)							
授 業 概 要						テスト配点	
1	授業説明、ブロー スタイリングデモンストレーション / 相モデル実践						
2	メンズドライ(ナチュラル) / 相モデル実践						
3	レディースストレート(艶出し) / 相モデル実践						
4	センターパートドライ/相モデル実践						
5	レディースカールアイロン(外ハネボブ)/相モデル実践						
6	メンズパーマ風スタイリング(ストレートアイロン)/相モデル実践						
7	レディースレイヤー巻き(リバース&フォワード)/相モデル実践						
8	中間試験 / 応用展示						中間試験40点
9	ウェーブ巻き/相モデル実践						
10	韓国風センターパート/相モデル実践						
11	外国人風カールスタイル(ゆるふわ仕上げ)/相モデル実践						
12	ナチュラル巻き/相モデル実践						
13	トレンドスタイル総合/相モデル実践						
14	定期試験/ 応用展示						定期試験60点
15	トレンドスタイル総合/相モデル実践						
【特記事項】				【評価について】			
中間試験および定期試験においては、モデルの毛髪状態やスタイルにより、ドライに要する時間に大きな差が生じる場合があります。その際は、講師の判断により適切に試験時間を調整する場合があります。				●中間試験40点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	美容技術理論	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	金谷 毅
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 木曜2限／木曜3限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
金谷 毅(カナヤ タケシ) サロンワークを25年以上経験し、店長・FCオーナー・本社運営業務・コンテスト受賞多数・ヘアショー・海外研修活動・イベント運営・ヘアメイク・講演活動・スチール撮影動画撮影編集制作・メーカーインストラクター・美容師養成施設での国家試験対策授業などを経験し業界内でのあらゆる経験を活かしてヒューマンスキル&テクニカルスキルの向上を目的に業界内で活躍できる基礎技術を身につける。							
【授業を通じての到達目標】							
エステティック・ネイル技術・メイクアップ・日本髪・着付けの理論と技術の基礎理論を習得し施術の際に必要な共通言語とプロとしての知識を身につける							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
授業内容によって異なるため授業内で確認				サロン体験			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	エステティック エステティック概論・皮膚の生理と構造・カウンセリング						
2	エステティック 美容におけるマッサージ理論・フェイシャルケア技術・フェイシャル及びデコルテマッサージ						
3	エステティック フェイシャルパック・ボディケア技術・ボディマッサージ						
4	ネイル技術 ネイルの技術概論 ネイルの種類 爪の構造と機能						
5	ネイル技術 爪のカット形状 ネイル技術と公衆衛生 カウンセリング						
6	ネイル技術 メイルケア アーティフィシャルネイル 手と足のマッサージ						
7	メイクアップ メイクアップ概論 皮膚の生理と構造 フェイシャルプロポーション						
8	メイクアップ 色彩について パーソナルカラー 用具の種類と消毒方						
9	メイクアップ メイクアップ ブライダルメイクアップ 肌質別修整メイクアップ一覧表 まつ毛エクステンション						
10	日本髪 日本髪の由来 日本髪の各部の名称 日本髪の種類と特徴						
11	日本髪 日本髪と調和 日本髪の装飾品 日本髪の結髪道						
12	日本髪 日本髪の結髪技術 日本髪の手入れ かつら						
13	着付けの理論と技術 着付けの目的 礼装 着物と季節 着物のいろいろ 帯小物						
14	着付けの理論と技術 着物各部の名称 着物の畳み方 着付けの一般的要領 留めそできつめ技術 振袖着付技術 帯締め 帯揚げの結び方					定期試験100点	
15	着付の理論と技術 男子礼装羽織、袴着付技術 羽織紐のひもの結び方 女子袴着付け技術 婚礼着付の際の注意事項婚礼着付の際の注意事項・洋装花嫁(ウェディングドレスの知識)						
【特記事項】				【評価について】 ●定期試験 100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	美容実習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	飯野 大輔／網野 紘子／ 田中 菜都紀
学科・コース	美容師科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	300 (10)	開講区分 曜日・時間	後期 金曜1, 2限／金曜3, 4限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 美容師として、経営者として、美容専門学校での講師としてそれぞれ10年以上のキャリアのある講師が担当。 サロン内における動き方やサロン内で行われるシャンプー技術の一部を学んでいく。							
【授業を通じての到達目標】 各担当に分かれ、サロン内の全体の動きをそれぞれが把握し動けるための基礎を作っていく。 シャンプーは設定タイムを意識して施術できるようにしていく。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
授業内容によって異なるため授業内で確認							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	チーム分けをし、メンバーとサロン運営のイメージを共有していく						
2	シャンプーをタイムで練習						
3	シャンプーをタイムで練習						
4	お客様・スタッフ役に分かれ受付～退店までのシミュレーションOR シャンプー練習						
5	お客様・スタッフ役に分かれ受付～退店までのシミュレーションOR シャンプー練習						
6	お客様・スタッフ役に分かれ受付～退店までのシミュレーションOR シャンプー練習						
7	身内・友人を迎えてサロン運営 受付～退店までのシミュレーション						
8	身内・友人を迎えてサロン運営 1回目 OR シャンプー練習						
9	身内・友人を迎えてサロン運営 1回目 OR シャンプー練習						
10	身内・友人を迎えてサロン運営 1回目 OR シャンプー練習						
11	身内・友人を迎えてサロン運営 2回目 OR シャンプー練習						
12	身内・友人を迎えてサロン運営 2回目 OR シャンプー練習						
13	身内・友人を迎えてサロン運営 2回目 OR シャンプー練習						
14	シャンプーをタイムで練習					定期100点	
15	シャンプーをタイムで練習						
【特記事項】				【評価について】 ●定期試験100点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	美容実習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	張 由香／高橋 雅代
学科・コース	美容師科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	300 (10)	開講区分	後期
						曜日・時間	金曜1, 2限／金曜3, 4限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
美容サロンで10年以上の経験と継続、撮影とブライダルの仕事も経験。実技講師をさせて頂く事で、基礎的な技術の重要性を知り、現場で通用する技術と美容師免許取得の為の技術を教える。							
【授業を通じての到達目標】							
基礎的な技術を覚える。国家試験課題のスタイルを覚える。全頭を決められた時間内に負ける様になる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ワインディング道具一式 衛生道具							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ブロッキング5分 全頭37分 巻き方のか復習。						
2	ブロッキング5分 全頭36分 巻き方の復習。						
3	ブロッキング5分 全頭35分 センターをきれいにま仕上げる。						
4	ブロッキング5分 全頭34分 フロントからバックサイド上巻きをきれいに仕上げる。						
5	ブロッキング4分 全頭33分 バックサイドネーブサイドをきれいに仕上げる						
6	ブロッキング4分 全頭32分						
7	ブロッキング4分 全頭31分					40点	
8	オールバックから3ブロックと第1ブロック後巻きに入る。センターの練習。全頭31分						
9	全頭31分フロントからバックサイドサイドの練習						
10	全頭30分 センターの練習						
11	全頭30分 センターの練習						
12	全頭30分 フロントバックサイドネーブの練習						
13	全頭30分 全頭の練習						
14	全頭30分 全頭の練習						
15	定期テスト全頭30分					60点	
【特記事項】忘れ物をしないようにして下さい。技術向上に楽しく取り組んでいきましょう。				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	国際教育	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	神谷 明日香
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師現場経験のある教員及び海外で活躍するヘアメイクアーティストの実演を通して、ヘアメイク技術、知識の幅を広げる。 他国の技術、知識、文化を学び自身の美容師としての幅を広げる。							
【授業を通じての到達目標】							
より広い視野で物事をとらえる国際的感性を学ぶ。他国の技術、知識、文化を学び自身の美容師としての幅を広げる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ipad 筆記用具							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	活躍する美容師の技術を体感し、幅広い美容の技術学ぶ。						
2	活躍する美容師の技術を体感し、幅広い美容の技術学ぶ。						
3	活躍する美容師の技術を体感し、幅広い美容の技術学ぶ。						
4	活躍する美容師の技術を体感し、幅広い美容の技術学ぶ。						
5	日本と海外のヘアメイクの違いについて、調べ学習や発表を通して理解を深める。						
6	ロンドンで活躍する美容師の技術を見学し、視野を広げる						
7	ロンドンで活躍する美容師の技術を見学し、視野を広げる						
8	ロンドンで活躍する美容師の技術を見学し、またLGBTQの知識も学ぶ						
9	おもてなしの知識を学び深める						
10	おもてなしの知識を学び深める						
11	気配り、心配りを学び深める						
12	気配り、心配りを学び深める						
13	海外で活躍する美容師の技術を体感し、幅広い美容の技術学ぶ。						
14	海外で活躍する美容師の技術を体感し、幅広い美容の技術学ぶ。						
15	海外で活躍する美容師の技術を体感し、幅広い美容の技術学ぶ。					定期試験100点	
【特記事項】				【評価について】			
				●定期試験100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			